

モーツァルト室内管弦楽団 第120回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester
120.Regulärkonzert



ピアノ:山上明美



チェロ:斎藤建寛



指揮:門 良一

〈1年遅れのシューマン・イヤー特集〉

2007年**5月3日**(木・祝)

2:00pm開演(1:30pm開場)

いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩5分、「京橋」駅から徒歩7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。
有料駐車場完備

入場料:一般 ¥4,500(指定席)

学生 ¥2,000(当日限定数発売)

※小学生よりご入場頂けます。

※前売一般券完売の場合、学生券の販売はありません。

シューマン

ピアノ協奏曲 イ短調 op.54

チェロ協奏曲 イ短調 op.129

交響曲 第4番 二短調 op.120

前売◆大阪アーティスト協会 050-5510-9645 いずみホール 06-6944-1188 電子チケットのみ 0570-02-9990

主催◆モーツァルト室内管弦楽団、毎日新聞社、大阪芸術祭協会 協賛◆いずみホール(財団法人 住友生命社会福祉事業団)

後援◆大阪府、大阪市、大阪商工会議所、毎日放送、スポーツニッポン新聞社

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909



モーツァルト室内管弦楽団 / 指揮・門 良一
Mozart-kammerorchester / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、35年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に

値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョア・ピリス('85、'87年)、シブリアン・カツァリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュッヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による「モーツァルト・オペラシリーズ」を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。



山上明美 ● ピアノ

Akemi Yamagami, Klavier

第17回全日本学生音楽コンクール第2位。第14回文化放送音楽賞受賞。東京芸術大学附属高校卒業後、西ドイツ・マンハイム国立音楽大学に留学。ジュネーヴ国際音楽コンクールにおいてショパン賞受賞。同大学演奏家試験にて最優秀で卒業。田村 宏、岡田高弘、F.ヴェーラー、N.マカロフの各氏に師事。帰国後もたびたび渡欧し、G.アンダ、G.パシヤヘリ、R.スメジャンカ、M.クルチョの各氏に師事。マンハイム・デビューリサイタル後、東京、名古屋、大阪、北海道から九州、沖縄にいたる全国各地、国外ではソウル、そしてフランクフルト、デュッセルドルフなど欧州においてもリサイタルを行い国際的に活躍。オーケストラでは日フィル、名フィル、新日フィル、京響、大阪フィル、関西フィル、大阪センチュリー、大阪シンフォニカー、テレマン室内、モーツァルト室内、ワルシャワシンフォニア等との協演、また室内楽に

おいても安永 徹氏率いる福岡アンサンブルコレージェでは絶賛され、ターリッヒ弦楽四重奏団、浦川宜也 (Vn)、藤原浜雄 (Va)、金 昌国 (Fl)、磯 恒男 (Vn)、関西では高橋満保子 (Vn)、上村 昇 (Ve) などとの共演も注目された。サントリーホール「ショパンピアノ曲全曲演奏会」でのリサイタル、フェスティバルホール「花博コンサート」などのコンサートに出演し、積極的に幅広く活躍。NHK-FM「現代の音楽」「午後のリサイタル」等に度々出演。また、プリマ・ヴィスタ弦楽四重奏団との「シューマン：ピアノ四重奏曲、五重奏曲」のCDをリリース。音楽クリティック・クラブ奨励賞、大阪文化祭賞、第8回ショパン国際ピアノコンクール イン アジアにおいて指導者賞を受賞。現在、神戸女学院大学教授。大阪音楽大学非常勤講師。(財)日本ピアノ教育連盟特別評議員。



斎藤建寛 ● チェロ

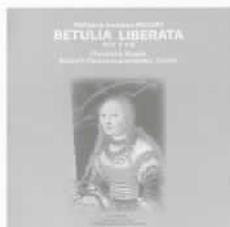
Tatsuo Saito, Violoncello

桐朋学園大学音楽学部卒業。卒業時に音楽賞受賞。同大学音楽学部研究生修了。のちにスイス・ジュネーヴ音楽院にて学ぶ。東京国際音楽コンクール室内楽の部にて1位なしの第2位入賞。名古屋市より都市文化奨励賞、大阪市より第3回「咲くやこの花賞」などを受賞。尾高忠明氏指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団と協演してデビューののち、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪シンフォニカー、テレマン・アンサンブルなどと協演。過去2回にわたり、ポーランド国立ショパン音楽院の招聘により「ショパンのチェロ作品全曲」をワルシャワ、ザガンニェ、ピアウイストク、アントニン、シャファルニアの各都市にて演奏。

現在はソロ、室内楽の分野での演奏活動を広く展開し、2000年12月より2003年6月まで、大阪のザ・フェニックスホールにて、半年に一回のペースでバッハの「無伴奏チェロ組曲全6曲」を毎回一曲ずつ織り込んだプログラムによる「斎藤建寛リサイタルシリーズ全6回」を開催、また2004年には18曲の小品のみによるリサイタル「愛の音」を、2006年には「愛の音 part II」を開催した。2006年夏にはドイツに渡り、シェラダーン、ヴァールブルクの各都市でリサイタルを行う。

これまでにチェロを斎藤秀雄、井上頼豊、日比野忠孝、ギー・ファロー、アンジェイ・ジェリンスキの諸氏に師事。現在、相愛大学音楽学部教授。相愛音楽教室室長。日本チェロ協会評議員。

モーツァルト室内管弦楽団 初CD好評発売中



神童モーツァルト15歳の超大作
救われたベトゥーリア
K.118 (全曲)

**ファン待望の
CDが発売中です**

- ◇テノール：畑 儀文
- ◇アルト：片桐 仁美
- ◇ソプラノ：津山 和代、野村 ゆみ
- ◇メゾ・ソプラノ：森内美佳子
- ◇バス：松下 雅人
- ◇合唱：モーツァルト記念合唱団 (指揮：益子 務)
- ◇指揮：門 良一

[2003年1月19日 いずみホール・第105回定期演奏会ライブ]
2枚組 4,000円/会員価格 3,500円
販売先：大阪アーティスト協会、いずみホール売店「ウィーン」